一宮市社会福祉協議会

いちのみやの

社会福祉

No.56
10月号 福祉のまちづくり (6月・10月・2月発行)

いちのみやボランティアフェスティバル2023 開催します!

日時:10月15日(日)10時~16時 会場:一宮スポーツ文化センター



- ○令和4年度事業報告·決算報告
- 赤い羽根共同募金
- ●支えあい通信

- ○いちのみやボランティアフェスティバル
- 学校の福祉活動紹介
- ○ボランティア紹介リレー

「赤い羽根共同募金街頭募金」を実施します。

お近くにお越しの際は、ご協力お願いいたします。

10月 1日(日) 12月10日(日)

尾張一宮駅・名鉄一宮駅周辺、 市内スーパー、商業施設など





「赤い羽根共同募金」について…4・5ページ

令和4年度 事業報告·決算報告

6月1日に理事会、6月23日に評議員会を開催し、令和4年度事業報告および決算について承認されました。詳細については、本会の事務所、ウェブサイトにてご覧いただけます。



ボランティアセンター活動事業

- ○登録者数 団体 323グループ (7,681名) 個人 68名
- ○ボランティア養成講座の実施 11講座 167名
- ○ボランティア活動保険料の一部補助 5,440名
- ○視覚障害者に「声の広報」を発行 延べ429名
- ○青少年等ボランティア福祉体験学習 24施設 延べ100名
- ○いちのみやボランティア交流会 65名
- ○ボラまっちいちのみや 延べ114名 出展団体 21団体



【ボランティア養成講座】

共同募金配分金事業

- ○数え年100歳の高齢者へ長寿祝金贈呈 111名
- ○敬老会事業への助成 総対象者 53,508名
- ○福祉善行児童・生徒表彰
- ○福祉推進校への協力、助成 66校
- ○生活困窮者世帯等への支援 延べ226世帯
- ○ふれあい・いきいきサロン活動への助成 73団体
- かれめい・いさいさりロン治動への助成 73回体 ○ サロンリーダー交流会 76名
- ○ボランティアグループへの助成 44団体
- ○ひとり暮らし高齢者へ歳末訪問



【福祉善行児童・生徒表彰】

貸付事業

○生活福祉資金

コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の申請受付を行いました。

緊急小口資金(特例貸付) 申請受付 238件 総合支援資金(特例貸付) 申請受付 194件

福祉サービス利用援助事業

62名

5,242名

自らの判断で適切な福祉サービスをうけることが困難な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等へ福祉サービスの利用援助を行いました。

利用者数 94名

生活支援体制整備事業

- ○ちょこボラサービス
- ○誰でもできる!支え合いボランティア講座

利用会員 469名 協力会員 137名 延べ34名

居宅介護支援事業

○介護認定調査 延べ222件 ○ケアプラン作成 延べ2.957件

居宅介護等事業

○指定訪問介護事業(介護保険) 延べ21,037回

○指定居宅介護事業(障害福祉サービス) 延べ19,851回

○移動支援事業

○育児支援家庭訪問事業

延べ1.931回

延べ158回

相談支援事業

○障害児・者等への相談支援 延べ17,269件 ○サービス等利用計画の作成 延べ1.037件



令和4年度 決算額

収 入 (単位:円)

介護保険・障害福祉サービス等	212,736,404	26.0%
補 助 金	149,451,060	18.3%
受 託 金	75,260,744	9.2%
会費	52,936,185	6.5%
共同募金配分金	40,784,222	5.0%
寄 付 金	4,502,521	0.5%
貸 付 事 業	188,995	0.1%
そ の 他	41,179,886	5.0%
前期末支払資金残高	240,971,341	29.4%
合 計	818,011,358	100.0%

収入決算額 818.011.358 円)

支 出 (単位:円)

居宅介護等事業	195,644,337	23.9%
法人運営事業	169,018,023	20.7%
地域福祉活動事業	53,472,385	6.5%
相談支援事業	43,485,750	5.3%
共同募金配分金事業	42,666,041	5.2%
居宅介護支援事業	39,812,727	4.9%
貸 付 事 業	25,038,239	3.1%
一宮市受託事業	11,280,012	1.4%
福祉サービス利用援助事業	9,533,991	1.2%
ボランティアセンター活動事業	7,344,652	0.9%
自販機設置事業	3,588,440	0.4%
基金運営事業他	10,979,516	1.3%
当期末支払資金残高	206,147,245	25.2%
合 計	818,011,358	100.0%

支出決算額 818.011.358 円

文書公開の実施状況(令和4年度)

情報公開規程にもとづいた実施状況は以下のとおりです。 申出件数 3 件:公開 2 件(うち部分公開 1 件)、非公開 1 件

令和6年4月採用一宮市社会福祉協議会職員を募集

- 種/一般事務 ▼職
- ▼応募資格/昭和63年4月2日以降生まれで、大学を卒業または令和6年3月に卒業見込みの方
- ▼選考方法/1次試験=一般教養・作文・グループ面接 2次試験=個別面接(ただし、1次試験合格者のみ) ※1次試験は11月12日(日)に一宮地場産業ファッションデザインセンターで実施
- ▼採用人数/2名程度
- ▼初 任 給/195.000円程度(地域手当を含む)

※令和6年3月卒業の場合 ※採用時までに給与改定があった場合は変動します。

- ▼申し込み/10月23円(月)までに申込書を持参または郵送(必着)
- ▼その 他/受験案内・申込書は本部で配布 (本会ウェブサイトからダウンロード可)
- ○上記募集の申込書の提出先および問合せ

〒491-0858 栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階 一宮市社会福祉協議会 総務課 総務管理グループまで Tel85-7024

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

運動期間 10月1日~3月31日



今年も赤い羽根の季節がやってきました

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障害がある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域 福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、人々のつながりを保ちづらい社会ではありますが、赤い羽根共同募金はつながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に対して取り組む活動を応援していきます。

この町を良くするために、困っている人たちを支えるために、赤い羽根共同募金活動に、ご協力をいただけましたら幸いです。

共同募金のしくみ



皆さまからのご寄付

募金

市民・法人の皆さまからのご寄付や、職場・ 学校・街頭での募金活 動などさまざまな形で ご協力いただいています。

一宮市共同募金委員会



全額送金

一宮市内での福祉活動を支援 県下広域福祉活動への支援・災害復興支援

翌年度に配分されます。

市内での福祉活動へ募金 の約81%が配分されて います。(令和4年度)



愛知県共同募金会

いろいろな募金のカタチ



インターネットから募金

キャッシュレス時代に合わせて、ネット募金も受け付けています。お支払いの方法は、クレジットカードやコンビニ支払いなど選択できます。



赤い羽根房金のつかいみち 赤い羽根データベース はねっと

ウェブ上で赤い羽根 募金のつかいみちをご確認いただけます。 https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/ pub/homeTown?data.jisCd=23203

自動販売機で募金



「赤い羽根自販機」で飲料を購入するだけで募金ができます。

売り上げの一部が寄付される仕組みで、飲料の料金は一般の自動販売機と同じです。

設置いただける方も募集していますので、事務局へご相談ください。 (設置場所の提供と月々の電気代のみで、設置費用はかかりません)



→募金で支えられた人は、

募金で支える人になるり



募金のつかいみち



38,293,829円 令和4年度実績

ご協力いただき、ありがとうございました つかいみちの一部を紹介します

地域福祉推進のために

地域での支え合い活動を推進する ボランティア活動への助成・支援

歳末たすけあいのために

ひとり暮らし高齢者を訪問しての 安否確認と救急情報キットの配付



高齢者のために

数え100歳の方への長寿祝い訪問 【令和4年度対象者】111名

障害のある方のために

障害のあるお子さまも遊ぶことがで きる「おもちゃ図書館」の運営

子どもたちのために

市内の全小中学校でさまざまな体 験を通じた福祉実践教室の開催



つどいの場の支援を通じた**地域の居場所づくり**の推進

高齢者の閉じこもり防止、介護予防を主な目的として、「ふれあい・いき いきサロン」が、住民の方々主体で運営されており、立ち上げの支援、運営 費の助成、サロン同士の交流などに共同募金が活用されています。

最近は、多世代の交流の場、つながりづくりの場にもなっていて、地域の 貴重な資源となっています。



障害者スポーツを通じて**交流や地域共生社会**の推進

昨年度は、共同募金を活用して「ボッチャ」などを通じた体験交流会を実 施するとともに、地域活動で活用いただけるように、貸出用の「ボッチャー セットを整備することができました。

スポーツを楽しむだけでなく、障害の有無や世代を超えた交流やつながり を通じて、障害者理解、地域で共に生きる意識の醸成につながっています。

共同募金へのご寄付は、税制上の優遇措置や顕彰制度があります。

- ・特定寄附金として所得税、法人税の優遇の対象となります。
- ・寄付金額の基準に基づいて、感謝状の贈呈等を行っています。

【事務局】

一宮市共同募金委員会 (一宮市社会福祉協議会内)

TEL: 85-7024

赤い羽根共同募金にご理解とご協力をお願いいたします。

ご不明な点は事務局まで。募金活動にご協力をご検討いただける個人・団体の方々からのお問い合わせもお待ちしております。

地域支え合い研修 (丹陽町連区)を実施しました!

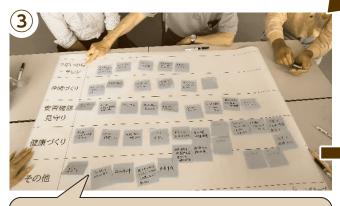
6月22日に丹陽町連区にて、地域支え合い研修を実施しました。この研修は地域に従来ある活動や、日常的に行っているお宝(住民の支え合い活動)に焦点をあて、地域のつながりを再認識することで、今後の支え合い活動や見守り活動の発展につなげることを目的としています。当日は社会福祉協議会丹陽支会の呼びかけにより、町会長、民生児童委員、老人クラブ、保護司の方々44名が参加されました。

《地域支え合い研修の様子》



特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター宇城絵美様をお招きし、『つながりはなぜ大切なのか』をテーマに講演していただきました。

講演後は地域で行われている普段のつながり(お宝)を一人ひとり付箋に書き出しました。



次に書き出した付箋を表に貼りました。表は①つどいの場②仲間づくり③安否確認見守り④健康づくり⑤その他に分かれており、普段のつながりにどのような効果があるのか確かめました。



最後に各グループでどのような話があった かを発表をし、丹陽町連区で行われている お宝(住民の支え合い活動)についてみん なで共有しました。

丹陽町連区の"お宝"を紹介します!



左記研修で発表していただいた取り組み(お宝)を取材しました。その中から「森本防犯パ トロール隊上の活動内容を紹介します。

町内の防犯活動と集いの場

隊の活動は町内の犯罪防止に大きな成果を上げていると共に、定例会でメンバー同士が顔 を合わせる機会があることで隊のメンバー同士の見守りにも繋がっています。





団体からの声

丹陽西小学校区で月に15日程、専用の防犯パトロールカー (通称青パト)で防犯啓発アナウンスを流しながら地域を巡回し ています。

令和4年度は自転車盗難が多く、自転車ワイヤーロックと防 犯ポスターを配布しました。

普段のパトロールは3名程で行っていますが、毎月6日(ロッ クの日)には喫茶店で定例会を開催し、直近の犯罪状況や、警 察の防犯啓発チラシを共有し活動に活かしています。コー ヒーを飲みながら談笑し、お互いの近況を確認しあうなど、 仲間が顔を合わせて交流する楽しい機会になっています。

合言葉は「自分たちの町は自分たちで守る!」

気軽に学べるスマホ講座



「スマホを買ってみたけれど、使い方がわからない」「興味はあるけど、難しそう」など 悩んでいる方はいませんか? 講座では、1人1台のスマートフォンをお貸しして、基本操作 を体験します。また、ご自身の持っているスマホの困りごと相談も実施します。

開催日時:A:12月15日(金)午前10時~12時

B:12月15日(金)午後2時~4時

象:市内在住の65歳以上の方でスマホの操作方法にお悩みの方 対 員:各回20名(応募者多数の場合は未受講の方を優先し抽選) 所:社会福祉協議会大和事務所(大和町宮地花池字中道9-16)

座: 『スマホならではの機能』の体験

師:ソフトバンク(株)認定講師

※スマホをお持ちでない方も参加できます。

※ソフトバンク以外で契約されている方も参加できます。

【申込み】

往復はがきを使用し、往信用はがきに①希望日程(AかBのいずれか)②住所③氏名④年齢

⑤電話番号を明記のうえ、以下のあて先にお申し込みください。 【10月31日(火)必着】

〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階

一宮市社会福祉協議会「スマホ講座担当者」あて

※当落結果を返信用はがきでご案内いたします。

※返信用はがきは未記入のままお送りください。

【問合せ】本部 1485-7024



いちのみやバラ

絆を取りもどし、より深めよ

にちじ 10月15日(日)10時~16時 ばしょ ー宮スポーツ文化センター(真清田1-2-30)

コロナ禍で中止となっていた「ボラフェス」。4年ぶりに開催します! 皆さま、ぜひお越しください。



イベントの見どころ

★体験ラリー、ガラガラ抽選(2階~4階)

ブースで体験するとスタンプを押してもらえます。たくさん体験 してスタンプを集め、ガラガラ抽選にチャレンジ!

体験ブースはボランティアセンター登録団体が運営!それぞれの 特色を活かした楽しい体験がたくさん♪

楽しく体験しながら、ボランティア活動にふれてみよう!









←体験ブースの様子 (2019年のもの)

★みんなで一緒にパラスポーツにチャレンジ! (4階)

ボッチャ、フライングディスク(フリスビー)、ゴールボール、競技用車いす乗車体験ができ ます。みんなで一緒にチャレンジ!自分だけのフライングディスクがつくれるクラフトコー ーも!(協力:愛知県障害者スポーツ指導者協議会)









- ※駐車場には限りがありますので、公共交通機関での来場にご協力ください。
- ※荒天などの理由で予告なく内容を変更・中止する場合があります。
- ※イベント中は記録・広報用に写真撮影をいたします。

ノティア

先着500名 記念品進呈

入場無料



だいだいフェスタ お菓子プレゼント ※小学生以下のお子さま限定



みんなで遊びにきてね♪



協力:ソフトバンク株式会社



★初心者も安心♥出張スマホ教室(1階)

7月に開催したスマホ講座は好評をいただきました。 イベント内でもスマホ教室を4回開催します。

LINEを使いこなそう! / ①10時30分~11時15分 ②11時30分~12時15分 始めよう! 災害への備え/③13時30分~14時15分 ④14時30分~15時15分

※各回定員10名、初歩的な内容で行います。※申込不要。各回、開始1時間前からスマホ教

室コーナーにて当日整理券を先着順で配布します(①は10時から配布)。

★ステージコーナー (1階)

ボランティア団体によるステージ出演(和太鼓演奏や舞踊など)。 パラリンアーティストによるライブアート(12時25分~)、 赤い羽根作品表彰式(14時35分~)も。









★バザー・フードコーナーも復活! (1階)

会場内にはバザー・模擬店もあります♪ 愛情たっぷりのみたらし団子、壱番屋さんのカレーライス、市内の授産製品を販売。



★フードドライブ (1階) SDGsアクション

みなさんのご支援で、市内のこども食堂や 生活に困っている方を助けてください。 詳細は10ページをご覧ください。











主催:いちのみやボランティアフェスティバル2023実行委員会、社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

後援:一宮市・一宮市教育委員会・株式会社アイ・シー・シー

SDGs アクション フードドライブをご存じですか?

ご家庭で食べきれず余っている食品や、企業・法人で備蓄している災害用食料などで期限が迫っているものを持ち寄っていただき、市内でこども食堂を運営している団体や、生活に困っている方の支援に提供する、どなたでも参加いただける地域貢献活動です。

10月15日(日)に開催する「いちのみやボランティアフェスティバル 2023」(8、9ページ掲載)でもフードドライブを実施します。皆さまにお持ちいただいた食品は、市内でこども食堂を運営されている団体、生活困窮者などを支援する団体に提供いたします。

耳にする機会が増えた「SDGs」の実現に向けた食品エコ活動です。この機会にあなたも SDGs アクションに参加しませんか?受け取れる食品には制限がありますので、以下をご確認ください。



★いちのみやボランティアフェスティバル 2023 特設フードドライブ会場

日時 10月15日(日)10時から16時

会場 一宮スポーツ文化センター(真清田 1-2-30)1 階スポーツフロア

○受け取れる食品

常温保存ができるもの 賞味期限が2か月以上先のもの

未開封のもの

以上の3点を満たすもので、ご家庭に眠っている食品があればお持ちください。

<例えば・・・>

お米、パスタなどの乾麺、缶詰、インスタントやレトルト食品、カップめん、 調味料、お茶など

×受け取れない食品

アルコール、開封済み食品、賞味期限表示がないもの、生鮮食品など

※受け付けできるか不明な食品は、本会までお問い合わせください

【問合せ】本部 1685-7024



講座受講者募集!



こども盲導犬教室

実際の盲導犬を見ながら、訓練方法や 正しい接し方を学びます!

	時	12月27日(水) 午後2時~3時30分
会	場	尾西庁舎6階 大ホール(東五城字備前12) へっ
対	象	市内の小学5・6年生で盲導犬に関心のある児童
定	員	80名(応募多数の場合は、初参加の6年生を優先し抽選)
受	講料	無料
申	込 み	期間:10月2日(月)~10月31日(火) 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで ご応募ください。 https://forms.gle/QKsmZTMeP37ZvWUH8

令和 5 年度 一宮市社会福祉協議会会費 ご協力ありがとうございました。

会費納入金額 52,496,650 円



令和5年7月31日現在

地域福祉への参加の一環として、本年度も 会員加入および会費のご協力をいただき、誠 にありがとうございました。

ご納入いただいた会費は、全額各連区に設置されている社会福祉協議会の支会を通じて、敬老会や見守り活動など地域福祉推進のための取り組みに活用させていただきます。

善意のご寄付 ありがとうございました。

令和5年4月1日~7月31日現在

合計858,155円

(敬称略·順不同)

エス・ビー建材(株) / ①会 / (株) 一宮看板店 / 尾西信用金庫 / フコクしんらい生命保険(株) / 中部経済新聞 尾張支社 / 石丸 勝彦 / 河野 裕治 / 鈴木 雅良 / 向山連区防犯・交通安全パトロール隊 / 丹陽囲碁クラブ / 坂井田ビル /

ユニー(株)ピアゴ尾西店 /

ユニー(株)ピアゴパワー妙興寺店 /

ユニー(株)アピター宮店 / 他匿名2件

障害者スポーツの紹介

「自転車競技」

自転車競技は、道路を走る「ロードレース」と、専用の屋内走路を使う「トラックレース」に分けられますが、その内容はさまざまです。着順・ポイン

ト・タイムなど、種目によって競うものが異なり、なかには男女混合で行われるものもあります。選手の障害の程度によってクラス分けされますが、クラスが違う選手と一緒に走る場合があり、そこではヘルメットの色でクラスが識別されます。イラストのような自転車だけではなく、手でこぐ「ハンドバイク」(下肢障害)や三輪の「トライシクル」(体幹障害)のほか、2人乗りの自転車(視覚障害)もあります。視覚障害のある選手の種目では「パイロット」と呼ばれるガイド役が前に乗ってハンドルを操作します。









第20回「荷物の持ち運び」

車いすは両手で操作しなければならないため、外出時は主に3種類のカバンを使い分けています。1つ目は、薄いクラッチバックです。荷物を最

小限にしたいときに、車いすの座面脇に差して移動します。目的が決まっている短時間の外出であれば、これで事足りる場合も少なくありません。

2つ目は、車いすの後ろにかけるリュックです。最も頻繁に使用しています。大きすぎると扱いにくいので、書類や水筒といった必需品が入るもので、かつ収納ポケットの多さも重視しました。「着替えが必要な時に対応できるか」や「もしもの時に膝の上に置いたまま移動できるか」など、あらゆる場面を想定し、時間をかけて選びました。

3つ目は、首からさげるポーチです。身体をひねって取る必要があるリュックと異なり、手元で荷物の出し入れができるため重宝します。たとえば「パンとパック飲料」など、簡単な食事を入れることもできます。組み合わせて使うと行動の幅が広がるので、どのカバンもとても便利です。(小鹿)

学校の福祉活動紹介

一宮高等学校

家庭クラブとは

- ◆ファッション創造科全員+普通科1年生全員で構成。
- ◆家庭科の学習を生かして、「研究活動」「ボランティア活動」 「交流活動」を行っています。
- ◆全国高等学校家庭クラブ連盟(FHJ)に所属。
- ▶昨年は、愛知県家庭クラブ総会の研究発表大会で「尾州ブランド」について発表。◎若い生徒たちが地元産業に目を向け、研究し、発表してくれたのは、とてもうれしいことですね!



「THE尾州」での 展示・ファッションショーへの参加

実際に学校で 使われています!



手作りの トイレットペーパーホルダー

家庭クラブのエコな取り組み

◎不要になったファイルを活用して、可愛らしいトイレットペーパーホルダーを作成します。床に直置きすることがなくなり、清潔に保つことができます。

◎エコキャップ運動*に参加しています。1年間で約11250個(約26 kg) ものキャップが集まり、約13人分のワクチン代に相当するそうです!



エコキャップ回収箱

※エコキャップ運動…ペットボトルキャップの収集・リサイクルで発生した利益を 発展途上国の子ども向けワクチン代として寄付する運動



家庭クラブの自給自足な取り組み

保健室前や通用門前などの花壇整理を行います。保健室前の畑では秋に向けて、サツマイモを植えます。できたサツマイモは、料理教室で使います。左の写真は、実際に生徒たちが草取りや絡まってしまったツルを伸ばす作業をしている様子です。夏休み中、補習や部活動が毎日のようにあるなか、活動していました。

一宮特別支援学校との交流

コロナが流行する前は、9月上旬頃、文化祭に一宮特別支援学校の生徒が来て、家庭クラブの生徒が校内を案内したり、ファッションショーや保育劇を楽しんだりしていました。現在は別の交流方法を模索中です。





取材を終えて…

在学中、私もトイレットペーパーホルダーやエコキャップ回収箱はよく利用していました。学校生活を送るなかで、気づかないうちにエコ活動に参加しているということもあります。今回改めて家庭クラブの活動の全体像を知り、福祉活動が身近なところでも行われていることを実感しました!



ダイタ ボランティア紹介リレー



今回は、『ココラポ』からの紹介で、 『NPO元気ふれあい倶楽部』をご紹介します。

「NPO元気ふれあい倶楽部」とは?

現代社会には多様な個人が存在し、支援が必要な人々の存在を見落とすことが増えていると感じます。子どもから高齢者、心身の問題を抱える方、経済的に苦しむ方、子育てに悩む方など、私たちの身近な場所にも支援が求められています。こうした課題に目を向け、地域の人々が繋がりを深め、お互いに支え合う環境を築くため、私たちは活動を行っています。地域社会が連帯し、共に成長できる社会を築くために、チームで取り組みを進める非営利団体です。



主な活動は?

私たちの主な活動は、経済的な困窮者支援と子育て支援に焦点を当てています。

【経済的な困窮者支援】私たちは、経済的な厳しい状況にある方々に向けて手を差し伸べる活動を行っています。食料品の提供、生活必需品の支援、雇用機会の提供などを通じて、彼らの生活の質を向上させるお手伝いをしています。また、経済的な困難に直面する人々が自立できるスキルや教育の機会も提供し、持続可能な未来を築くサポートを行っています。

【子育て支援】子育ては大きな挑戦ですが、私たちは地域の親御さんをサポートすることを大切に考えています。子どもたちのための教育プログラムやアクティビティ、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育てに関する知識と経験の共有を促進しています。また、子どもたちの健全な成長を支えるためのリソースやアドバイスも提供し、地域全体で子育てに取り組む力を高めています。

これらの活動を通じて、地域の皆さんがより健全で支え合う社会を築く一助となることを目指しています。 活動のやりがいは?

当団体の活動に対するやりがいは、人々の生活に直接的な影響をもたらすことにあります。経済的な困窮者支援においては、困難な状況にある人々が希望を見出し、自分自身で持続可能な未来を築けるお手伝いができることに喜びを感じます。食料や必需品の提供が、温かな食事や安心して過ごせる環境を提供することに繋がります。また、雇用機会の創出やスキル教育が、新たなチャンスを切り開く助けとなり、自己価値感の向上をもたらします。子育て支援では、地域の親御さんが情報を共有し、支え合う場を提供することで、子どもたちの健全な成長に貢献できることにやりがいを感じます。子どもたちの笑顔や成長を見守ることで、地域全体で育てる力を育むことに誇りを持ちます。子育てがより楽しく、有意義なものになるよう支援できることが何よりのやりがいです。このような活動を通じて、人々の生活に希望と笑顔を届け、地域社会の結束を深めることが私たちの最大のやりがいです。

市民の皆様へひとこと

私たちは「NPO元気ふれあい倶楽部」として、地域の活力と絆を大切にし、共に成長する社会を目指して活動しています。経済的な困難や子育ての悩み、さまざまな課題に直面する人々を支援し、地域全体で力を合わせて前進するプラットフォームを提供しています。私たちの活動には、

人々の温かさと連帯の精神が溢れています。経済的な支援や子育て支援を通じて、誰もが笑顔で生活し、夢を追いかけることができる環境を共に築いていきましょう。あなたも「NPO元気ふれあい倶楽部」の一員として、地域社会の一翼を担い、人々の喜びと希望を育むお手伝いをしてみませんか?ぜひ私たちの活動に参加して、地域の未来を共に創り上げていきましょう。よろしくお願いいたします。



Instagram

おすすめ福祉の本どんなかんじかなあ



中山 千夏/作 和田 誠/絵 自由国民社

友達のまりちゃんは目が見えない。見えないってどんなかんじかなあ、こんなにすてきな音が聞こえるなんて。聞こえないって、どんなかんじかなあ、あんなにたくさん見えるんだものね。読み終えると主人公ひろ君の世界がぐっと見えてきます。耳が聞こえない人、親を亡くした人、いろいろな立場の人の気持ちを想像していく絵本です。相手の気持ち、状態を考えてみること。どう感じているのか、相手の置かれている立場を、常に自分なりに思いを巡らせてみること。そこで自分は何ができるかを考えてみること。この絵本を読みながら、それを自然と経験してもらえたらと思います。

「ワンポイント Q&A

健康寿命について



質問:健康寿命について教えてください。

答:「平均寿命」は、0歳における平均余命のことですが、「健康寿命」は健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。

この「平均寿命」と「健康寿命」の差が、男性で9年弱、女性で12年ほどあるといわれており、日常生活に制限のある=不健康な期間を意味しています。 毎日の生活の中でできることから見直しをしていきましょう。

POINT 1 プラス10分の運動を

一日に男性なら9,000歩、女性なら8,000歩を歩くことが生活習慣病を予防する目安です。

なかなか難しい方は、いつもよりもあと1,000歩を歩くように心掛けましょう。時間にした場合、10分程度といわれています。

ひと駅手前で降りて歩くなど、移動時間を利用して一日10分間のウォーキングを習慣にしましょう。

POINT 2 プラス一皿の野菜を

生活習慣病を予防するためには、一日350グラムの野菜を摂取することが目安です。 日本人の平均摂取量は、約280グラムといわれており、約70グラム不足しています。 野菜の70グラムは、トマトなら半分、野菜炒めなら半皿分です。生野菜が苦手な方は、 温野菜・スープにすると食べやすくなります。

POINT 3 禁煙にチャレンジを

喫煙は、がんや心疾患、脳卒中などの危険因子です。たばこの煙には、さまざまな有害物質が含まれるため、本人のみならず家族や周りの方の健康も害します。禁煙外来や禁煙補助剤を上手に利用して禁煙に挑戦してみませんか。

POINT 4 健康診査、検診の受診を

生活習慣病は、自覚のないまま進行します。

年に1回、健康診査や各種がん検診を受診しましょう。年齢や加入している健康保険 により受診可能な項目が異なる場合があります。

早期発見・治療することは、平均寿命と健康寿命の両方を延ばす効果があります。

POINT 5 ストレス発散を

ストレスをためないことも健康寿命を延ばすために大切です。

過度のストレス状態が慢性的に続くと、精神に悪影響を与えること、飲酒や喫煙量が増えることや、過食を引き起こすことがあります。そのため、睡眠をしっかりとったり、適度な運動や人との会話をしたり、ストレス解消に心掛けましょう。

いくら長生きをしても、寝たきりになったり介護が必要になったりすると、生活の質が大きく低下してしまいます。そうした状況を防ぐために健康寿命を延ばすことが大切です。



広報ボラシティアのページ

●担当ボランティア/日置雅夫・岩下茂子

縄文時代の社会はどうなっていたのだろう

地域社会をつくる縄文時代の集会所

2年前に青森県の三内丸山遺跡に行ってきました。縄文時代は1万3千年もの長きにわたり続き、近年になって特に話題になるようになりました。三内丸山では5900年前から定住が始まり、1000年間も続きました。当時は、今より気温が高く、海水面も数メートル高かったようです。これを縄文の海進と呼ぶそうです。

生活のゴミ捨て場の貝塚を見てみると、魚や貝などの海の幸や獣肉、栗・クルミなど食べていたと想像されます。栗については、苗木を植えて栽培するなど比較的豊かな食生活だったようです。家族が住む直径5~6m程の竪穴住居とは別に大型竪穴建物があり、集会所や共同作業場として使用していたと考えられます。

また、千葉市にも約5000年前に定住が始まった加曽利貝塚があります。ここでは、約2000年間続いた、巨大な貝塚があります。ここにも、長径約19mもある大型建物跡があります。まつりなどに使われたと考えられる特殊な遺物が多く出土しています。

現代では、昔からある集落には集会所としての公民館があります。そして、新たに多機能型の公民館やコミュニティセンターが作られ、市民活動の拠点として、地域社会をつくっています。(日置)



縄文時代の集会所:三内丸山遺跡 大型竪穴建物 (32m×9.8m、270㎡)

おりもの感謝祭一宮七夕まつりにいきました!!

今年は猛暑日が連日続き、災害級とまで報道されておりますが、どのようにお過ごしですか?この記事がお手元に届く頃には涼しくなっているとよいのですが、まだまだ暑い日が続いているのでしょうか?読者の皆さまも体調には充分にお気をつけくださいね。

今回は一宮市の誇る「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」を取材させていただきました。私も息子が小さな時から幾度となく参加させていただいていました。まず最初に気づいた事は、まだまだ続くコロナ感染対策も考慮されたうえで、可能な限り盛大に行われたように感じました。

本町通りの吹き流し、いろんな場所での出店、休憩所、そして溢れんばかりの浴衣姿の方々を見ていると、なんだか懐かしさと嬉しさが込み上げてきました。ついに日常が戻ってきたかな?と。また、パレードでは参加者はマスクを取り外したうえで踊りを踊っており、辛かった日々を忘れさせるかのように、暑さも跳ね飛ばして楽しそうに行進しているのが印象的でした。

今回の七夕まつりに限らず全国的にもいろんな場所で、感染対策を維持しつつも、花火大会、夏祭り、地域伝統行事など、活発に開催されていることがよくニュースなどでも報道されるようになりました。長いトンネルを抜けるまで後少しのところまで来たようにも見受けられますが、同時にまだ新型コロナ感染拡大への注意喚起もされています。まだまだ新型コロナも油断せず忘れてはいけない状況ではありますが、戻りつつある日常を実感できる取材となりました。皆さまも感染対策は維持しつつも、再び戻りゆく活気ある日常を少しずつ楽しんでいただきたいなと思います。(岩下)

★車いすの貸し出し

対象者:身体に障害のある方、けがをされた方など

一時的に利用が必要な方にお貸しします。

利用料:無料

貸出場所:本部・尾西支部・木曽川支部・大和事務所





登録すると、ボランティアに関する情報発信のほか、以下の特典もあります

★会議室の利用

尾西支部・木曽川支部・大和事務所の会議室やボランティア室が利用できます。

★用具の貸し出し

高齢者疑似体験セットなど の福祉用具や、レクリエーシ ョン用具、マイクセットなど が利用できます。









サーキュレータ-

オセロ

ボッチャ

● ちょこボラ協力会員

自分のできる範囲で、困って いる高齢者に、"ちょこっと"した お手伝いをしてみませんか?

企業・法人会員も募集中

-芸ボランティア

施設やサロンなどで、歌や踊 り、手品などの披露や、小物作 りの指導などを行っていただけ る方を募集中

おもちゃ図書館運営ボランティア

市内に2か所(浅井町、丹陽町) あるおもちゃ図書館で、受付や おもちゃの作成などをしていた だける方を募集中

【問合せ】本部 16185-7024

「いちのみやボランティアフェステ ル2023」のテーマは"○を取りもど し、より深めよう♥"○に入る言葉をお **答えください。?**ヒント8、9ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書 カード(1.000円分)をプレゼントします!

①クイズの答え ②本紙に対するご意見・ご感想 ③住所 ④氏名 ⑤年齢

を明記のうえ、ハガキにてご応募ください。

【令和5年10月31日(火)必着】

〒491-0858一宮市栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前 ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの 社会福祉 | 編集係あて

6月号クイズ当選者発表(応募総数95通)稲原様(萩原 町) 坂部様(葉栗) 足立様(今伊勢町) 宇佐見様(葉栗) 平松様(葉栗)おめでとうございます。

クイズの答え:ウェブサイト

市内の福祉・保健・ 医療関係者の皆さまへ

【掲載枠】1枠 縦55mm×横80mm 【掲載料】1回1枠 20,000円

最大4枠 複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(Tel:85-7024)まで

